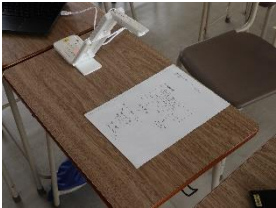
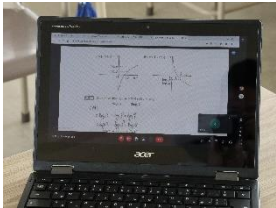


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷青陵高等学校	
実践者等		栞原 英樹	実践日 令和4年6月16日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学・数学Ⅱ (対数関数) 実物投影機を使ったオンライン授業	
対象生徒 (学年等)		普通科2年	
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☒ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化	
		☐ その他 ()	
家庭学習		☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 (1) 2年4組の教室に Chromebook 2台(手元撮影用と撮影画面確認用)とカメラを設置する(図1)。Chromebook のマイクとカメラをオンにして、Classroom (2-4HR) から Meet に参加し、手元の資料を映し出し授業を行う。 (2) 授業が始まる前にマイクの音声聞こえるかを生徒に「挙手」ボタンで確認する。 (3) 学校のチャイムと同時にホームルーム委員に号令をかけさせ、授業を始める。 (4) 事前に解説用の資料を準備する(図2)。撮影画面確認用の Chromebook に注意しながら(図3)、対数関数のグラフ及び性質を解説する(図4)。 (5) 解説後に質問を受け付ける。  図 1  図 2  図 3  図 4			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 次回はオンラインで対数関数のグラフとその性質について解説することを事前に知らせる。 (本時後) 解説した方法を参考にして、次の時間までに練習問題をするように促す。			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)